



国際会長 (IP) Henry Grindheim (ノルウェー)

“Let Us Walk in the Light—Together” 「ともに、光の中を歩もう」

“Fellowship across the Border” 「国境なき友情」

会長 舟田 正夫
副会長 古賀 健一郎
書記 伊藤 誠彦
会計 古田 和彦
直前会長 金子 功

アジア地域会長 (AP) Tung Ming Hsiao (台湾)

“Respect Y's Movement”

「ワイズ運動を尊重しよう」

東日本区理事 (RD) 栗本 治郎 (熱海)

「広げよう ワイズの仲間」

“Extension Membership & Conservation”

湘南・沖縄部部長 (DG) 金子 功 (横浜)

「Y'sの絆を強め、広げよう」

“Let's Tighten and Expand the Bonds of Y's Men”

横浜クラブ会長 (CP) 舟田 正夫

「YMCA とともに！」

“Together, with YMCA!”

監事 松島 美一
ブリテン 古賀 健一郎
野村 郁雄
担当主事 青木 一弘

<今月の聖句>

伊藤 比朗美

「わたしはぶどうの木。あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである。」

(ヨハネによる福音書 15 章 5 節)

今月のひとこと

「十年一昔」

田口 努



明けましておめでとうございます。2018年は、横浜YMCA134周年となります。これまでのお支えに感謝しますと共に、本年もよろしくお願いたします

さて、私が総主事を拝命したのは、2008年です。ちょうど10年目を終えよう

としています。10年の節目は、十年一昔(じゅうねんひとむかし)ともいえる時をすごしたことになります。ことわざ辞典によると「10年も過ぎると、世の中の人や物などが移り変わってしまう、ということ」で、解説には10年もたつと、人が考えている事や、住んでいる周りの状況は変わってしまい、過去の事として忘れ去られ昔のこととなってしまうと

ありました。

本当にそうだろうかと思い10年前の2008年を振り返ってみると、その年の漢字は、「変」であり、政治の変化として、前年秋に安倍首相から引き継いだ福田首相が、秋に退任に追い込まれ、麻生首相が誕生し、大阪府で橋下知事誕生、米国の大統領選挙でオバマさんが当選し翌年1月就任するなどの大きな変化がありました。あの時のオバマさんの選挙演説、就任演説は、大ブームとなり、演説集が売れ授業で使われたり、YES WE CANは、世界に希望を抱かせました。今のトランプさんの排他的、世界を分断される言動、行動を起こす大統領が選ばれるとは、誰も想像しなかったのではと思います。

気候の変化では、温暖化の影響が世界的に大水害などの自然災害がおき、ミャンマーでナルギス台風の大水害や四川大地震、日本でも岩手、宮城内陸地震が発生しました。横浜YMCAは昨年までナルギスの被災地支援を続けたり、四川大地震で上海YMCAが支援した四川の成都にある青少年施設で一昨年上海、光州、横浜の3都市の青年たちのキャンプが行われるなど復興を感じる経験をしました。

金融の変化では、リーマンショックでの金融大恐慌の年でした。今年は、新年から株価上昇で好景気でバブル前の状態ですが、時代は繰り返すのでは、と心配になります。

食品の変化では、あいつぐ食品偽装、異物混入、汚染米の転売など食品の安全が問われました。

希望が持てるいい変化としては、ノーベル賞四人受賞、北京オリンピックでの平成生まれの活躍など希望を与えました。今年行われる平昌オリンピックにも期待したいものです。

今、も昔も変わらないと思うことも、力士の暴行事件で親

★ 強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う

<2017年12月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F	
17名 (功労 会員1 名を含 む)	メン 10名 メネット 0名 コメット 0名 ビジター 0名 ゲスト 0名 合計 10名	69 % (メーキャップ 2名を含む) 前月修正出 席率 %	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 0g 現金 0円	

<1月の行事予定>

強調月間「IBC/DBC」

日	曜	時間	行事内容	場所
13	土	18:00	Y-Y's 合同新年 会兼第一例会	ワークピア横浜
25	木	17:00	第二例会	中央YMCA

方兄弟子三人逮捕。米国であいつ銃乱射事件、イージス艦と漁船の衝突。洞爺湖サミット開催やパンダのリンリン死亡というのもありました。10年後シャンシャンの誕生で盛り上がる事が少し不思議に感じます。6カ国協議再開があり、新年から南北対話の兆しもあり、10年ごとに対話するのか、歴史は繰り返すのかと考えられますが、10年後Jアラートによるミサイル情報で非難するなど危機感がここまで煽られることはなかったが、結果として何回交渉しても核開発は続けてきたこととなります。

2008年に販売されたiPhoneは、この10年で世界を変えました。手で画面に触れて直感的な動作で動かして使えるアプリの進化により、SNSの発達で、地球の裏側で起きたことでも、手のひらから日本、世界に即座に伝わる時代になった。こう記していくと10年前からつながっていることが、大きな変化を起こしていることが多い。さらに、この10年の間には、6年前の東日本大震災と原発事故、広島土砂災害、昨年の熊本大震災などでのYMCAによる指定管理施設の被災など今後も関わっていくことが多い。今、起きていることも、しっかりと見つめ、向き合い続けることが未来につながると思います。

因みに、横浜YMCAは、この10年で高齢者施設を4施設、子育て支援拠2施設、保育園3園、指定管理施設2施設、地域YMCA2と13施設が増え、一方、3施設を閉鎖した結果、10年で10拠点増と少子高齢化に対応したYMCAとなりました。どうぞこれからも未来のYMCAへのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

「12月例会・忘年会報告」

伊藤 誠彦

日時：12月14日(木) 18:00~20:00

場所：横浜中華街 廣東飯店

出席者：青木、伊藤、今村、大江、大高、押川、古賀、舟田、古田、松島

古賀ワイズの司会で忘年会に先立ち12月例会が開催されました。開会点鐘、ワイズソング、ワイズの信条は会場の都



笑顔・笑顔・笑顔

合もあり割愛し、今村ワイズの発声で。体調不良で欠席された金子ワイズの早期の本復、今年度後半のより一層の活動、を祈願した乾杯で例会は開始されました。

筆者のワイズ生活でも、例会開始前のビールでの乾杯は、記憶にありません。会場は忘年会が控えている気安さからくる笑顔に満ちていました。

ビジネスに先立ち、DBC大阪長野クラブより贈られたクリスマスプレゼントを有難く皆で分け合いました。毎年贈られる手作りの温かいプレゼントには感謝です。

ビジネスでは一番大きな問題は次年度のクラブ会長をはじめとする役員候補の選出です。候補者は沢山いらっしゃるのですが、それぞれに事情があって・・・、短時間の話し合いで決まるはずもなく、この問題は1月第二例会に持ち越しとなり、忘年会に移りました。

会の途中からは仕事を終えた大江さんも義理堅く駆けつけてくださり、参加者は10名に、と、言っても例年に比べてかなり寂しい人数でしたが、一つのテーブルを囲む結果になったこともあって、大いに話が弾みました。



12月例会・忘年会出席者

「横浜YMCAクリスマス会報告」

古賀 健一郎

12月21日(木) 18時30分から20時15分まで、湘南とつかYMCAで、恒例の横浜YMCAクリスマス会が行われた。常議員、ワイズメン・メネットをはじめ、横浜YMCAに関わるレイパーソン、職員等200余名が一堂に会し、主イエス・キリストのご降誕をお祝いした。

礼拝は、点燭、聖書朗読とクリスマスを祝う讃美歌に続き、恵泉女学園大学キリスト教主任の宇野 緑牧師から『暗闇にあるわたしの灯心』と題してクリスマスのメッセージをいただいた。メッセージは、昨年のノーベル平和賞の授賞式での、原爆被爆者サーロー節子さんの演説の一部を引用し、語られた。「(広島に原爆が投下された時)当時13歳だった節子さんは倒壊した建物の中で身動き出来なくなり死に直面していました。『諦めるな。瓦礫を押し続けろ。あなたを助けてあげるから。あの隙間から光が差すのが見えるだろう。そこに向かってはって行くんだ!』との励ましの声に導かれて生き残られました。今、私たちの光は核兵器禁止条約です。核の恐

怖の闇夜から抜け出しましょう。どのような障害に直面しようとも、私たちは動き続け、前に進み続け、他の人たちとこの光を分かち合い続けます。この光は、この一つの尊い世界が生き続けるための私たちの情熱であり、誓いなのです。イエス・キリストの誕生を喜び祝うクリスマス。暗闇にある私たちに照らす光としてイエス・キリストという命が与えられました。馬小屋の飼い葉桶に眠る幼子を先頭に立て、最も小さい命を大切にすることによって、世界に真の平和をつくり出すことを神から私たちは託されています。クリスマスは悲しみを抱えた多くの人々をそのまま包みこみ、どんなあなたでも愛された大切な存在であり、ありのまま、勇気をもって光に向かい歩むことを伝える出来事だと思います」。



第2部祝会では、参加者が数グループに分かれて会食を共にしながら、楽しく語り合い親交を深めた。また、祝会の半ばでは、富士山YMCA10周年記念事業プロジェクトへの募金、目標2000万円のアピールがあった。恒例となった横浜クラブからBAPY基金への寄付贈呈もこの場で行われ、古賀副会長から松橋秀之BAPY基金委員長に10万円の目録が手渡された。最後に田口総主事より感謝の言葉が述べられ閉会した。
横浜クラブからの出席者：金子、古賀、齋藤、田口、古田

「第79回YMCA-Y's協議会報告」

舟田 正夫

第79回YMCA-Y's協議会が12月5日(火)午後7時より横浜中央YMCA501号室で開かれた。今回は鎌倉ワイズメンズクラブが担当。三上 淳担当主事の司会で黙祷、讃美歌21 261番「もろびとこぞりて」、聖書 ヨハネによる福音書1章1節～5節朗読、祈祷による開会礼拝で始められた。

横浜YMCA田口 努総主事の挨拶の後、千葉裕子鎌倉クラブ会長の司会で議事は進められた。

協議事項に入る前に、「第30回東日本ユースボランティア・リーダーズ・フォーラム」に参加した横浜中央YMCA阿部知希さん(サッカー・体操)、鎌倉YMCA岩田亜沙人さん(サッカー・野外・学童)と横須賀YMCA新保真琴さん(野外・体操)の3人から「今、リーダーに求められていることは何か?」についての3日間の行事と感想の発表があった。

協議事項としては、①Y-Y's合同新年会を1月13日(土)

18:00～20:00 ワークピア横浜で開催、会費1人5,000円。
②ワイズエクステンション委員会について佐藤節子委員長より説明があり、第4回委員会は2月6日(火)開催予定。
報告事項は横浜クラブ、横浜とつかクラブ、厚木クラブ、金沢八景クラブ、横浜つづきクラブ、鎌倉クラブの順でなされた。

YMCA報告は、①第20回インターナショナル・チャリティランの報告(長田光玄主事)、②ブランディングについて報告(井上孝一主事)、③東日本ユースリーダーズフォーラムの報告(青木一弘主事)、④厚木子ども食堂の報告(奥菌一紀主事)、⑤富士山募金の報告(三上 淳主事)について行われた。

当日の出席者は、ワイズ側16名、YMCA側2名、横浜クラブ出席者：青木、伊藤、古賀、田口、舟田、古田。
次回予定は3月6日(火)横浜とつかクラブが担当する。

【新年への一言特集】

「新年の抱負」

青木 一弘



明けましておめでとうございます。年未年始はゆっくり静養されたことと存じます。

昨年、横浜ワイズメンズクラブの皆様には「ウエルカムフェスタ」や「スピーチコンテスト」など...大変お世話になりました。特に、YMCAブランディング・プロジェクトにおいては、みなさんの多大なご協力のおかげで、無事に報告・伝達することができました。今年は、そのプロジェクトの小さな芽もやがて太い幹に、大きな事業分野の柱へと育っていつてくれるものと確信しております。引き続き、プロジェクトの拡大に向けて共に邁進していきたいと思っておりますので、本年も変わらぬご支援をどうぞ宜しくお願いいたします。皆さんに更なるご協力をお願いいたします。新年のご挨拶とさせていただきます。

「3つの課題に挑戦」

伊藤 誠彦



日頃気になっている次の3つの課題について、自分なりの意見を整理しておくことが今年目標の一つです。

第1は、「AI(人工知能)と倫理」。AIの影響については功罪ともに、広く知られるようになってきていますが、米大統領選挙ロシア疑惑の大衆操作に関係していたとなると、底知れぬ怖さも感じます。

第2は、中央銀行ではなく民間企業が発行する「仮想通貨」の経済社会への影響と、そのセキュリティの問題。

第3は、現在のコンピュータよりも桁違いの処理能力を持つとされる「量子コンピュータ」の作動原理の理解と、前2つの課題とも関連して、それがもたらす影響、です。

「生涯現役」

今村 讚



御蔭様で心身共に健康を与えられ1月9日の誕生日に米寿となったが余り関心がない。未だ八十八だ。横浜クラブ入会からと、コロヘ今村&レイキングスの結成から今年で25周年となった。その後ホノルルのカウムキクラブに入会し、毎年ハワイのウクレレフェスティバルに出演の度に親交を深めている。我がバンドは5年毎にディナーショーを行っているが今年12月15日(土)新横浜プリンスホテルで開催する。

1995年横浜で行われたワイズメンの日本大会に出演する等以前はよくワイズメンの催しで演奏したものだ。離合集散の多いグループの中、ここ迄続けてこられたのはメンバーが健康であった事、そしてそれぞれの人品が素晴らしかったからと感謝している。抱負として今年も信仰生活をベースにすべての業に青春で生涯現役を目指し猛進するつもりだ。

「新年の抱負」

大江 浩



2017年の新年の抱負で「次期米大統領は、世界を不寛容と排外主義の炎で包もうとしています」と書きました。東アジアは米国と「北」の暴君に翻弄されて危機が増し、中東ではエルサレム問題を巡って世界規模で対立が激化しています。その傍ら

で、深刻化するロヒンギャ難民問題は忘れられているという現実も・・・。

けれどそんな世界情勢にありながら、株価が好調で経済は好景気という不思議な世界に私たちは生きていることも事実。??? 昨年の新年の抱負では「世界が如何に分断の危機に瀕しようと、怒りと憎しみに溢れようと、主の平和は来ると信じます。闇夜の後に必ず朝が来るように」とも書きました。希望は、あります。人々のささやかな営みの中に平和はあり、そのために黙々と力を尽くす人たちがいると知っていますから。

「もう幾つ寝るとお正月」

大高 治



歳を重ねる毎に、時の流れを早く感じるようになりました。多くのことが経験済みで、目新しいこと待ち遠しいことが少なくなって来たことに加え、生物学的には身体機能が衰えると、体内の時計機能が緩慢になり、時の流れを早く感じ、

楽しい時も駆け足、退屈な時も大股で過ぎるからだとのことです。

楽しいことも退屈な時も駆け足なら、楽しいことを優先し、気が進まないことはなるべく楽しくして、かつ脳が好む新しいことを取込んで行くように心がける。このチャレンジ、遅

く回り始めた心の時計のネジを巻き、スピードを速めた時計の針にブレーキをかけ、「もう幾つ寝るとお正月」と指折り数えたあの感覚を思い起こすことにつながりそうです。ワイズの行事もそのような目で捉えて行きたいと思います。

「み恵みがあふれるような生き方を今年はしよう」

押川 幸男



毎年の新年礼拝で必ず歌う讃美歌の一つに、「新しい年を迎えて」(讃美歌21 368番)という歌があります。どの節も励ましや慰めに満ちた素敵な歌詞なのですが、特にその3節に「みことばにはげまされつつ 欠け多き土の器を 主の前にすべて捧げて、み恵みがあふれるような 生きかたを 今年はしよう。」という歌詞があります。今年の抱負は、この歌詞を常に口ずさみながらワイズの皆様と共に楽しく歩みたいと願っています。

「新年への抱負」

金子 功



年末にかけての私の健康状態は極めて悲観的なものでした。1年前に発症した骨髄異形成症候群の症状が多少進んだのか貧血による息切れに悩まされ、体力は通常の50%ぐらいまで落ち込んでしまった。とんだ新年のスタートとなってしまったが、これも摂理の一つかと甘んじて受け入れ、息切れの状況とも上手に付き合っていこうと思っている。

望むらくは、湘南・沖縄部長として1月13日のY-Ys合同新年会、2月3、4日の沖縄部長公式訪問の責務を無事務め上げたいと願っている。それにしても、健康のありがたさを感じ、健康を勝ち得ることが今年の命題になっている。

「健康第一」

神村 浩正



のんびりと過ごしているうちに早くも85歳になった。

歳をとると、さすがに健康もあちこちあやしくなってきた。約4年前食道癌が発見され内視鏡手術を受けたが、その後三か月毎にチェックしてもらっているが、特に不具合はないと診断されている。

その後歯肉癌が発見され手術してもらったが、これも三か月ごとにチェックしてもらっているが、今のところ異常なしとのことである。これも中学・高校のころ父母が慣れない農業で苦勞していたので百姓仕事の手伝いをしてたこと、大学時代はボート部で身体を鍛えていたことなど、若いころに身体を鍛えていたためかと思っているが、その健康もかなりあやしくなっているので、これからは「健康第一」を心がけ、メネットや子供たちにあまり心配をかけないようにしようと思っている。

「隠れて見えにくい大切なもの」

古賀 健一郎

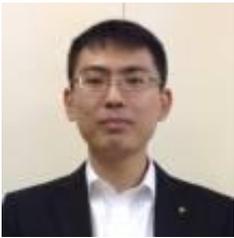


最近、情報技術の発達で、直接会わずに意思疎通や情報の発信が簡単にできるようになった一方で、膨大な情報の中で、フェイクニュースや偏った情報の広がり問題となっています。こんな混迷の時代にあって、『互いが直接会って触れ合い、理解し合う場』の必要性が再認識され、相手のことを思いやり、心と心が通じ合う共同体の創造が求められています。これは『みつかるとつながる、よくなっていく』とのYMCAのブランドスローガンにもつながります。私の好きな歌詞の一節に『本当に大事なものは、隠れて見えない。ささやかすぎる日々の中に、かけがえのない喜びがある』があります。豊かな交わりを通して、『隠れて見えにくい大切なもの』を見逃さないで、新たな日々を歩いていきたいと思います。

「隠れて見えにくい大切なもの」を見逃さないで、新たな日々を歩いていきたいと思います。

「新年の抱負」

齋藤 宙也



近年、弁護士の増加で仕事がないとか、年収200万円未満の弁護士がいるなどと言われるようになりました。しかし、当方は、本当にそんな人いるのかと思うくらい忙しかったです。弁護士は12月が必ず繁忙期になるとは限らないのですが、結局いつの間にか予定が立て込み（その多くが移動なのですが）、殺人的な状態でした。風邪をひいても、休むのはもちろん病院に行く暇がなく、もはや仕事で治すに等しい状態でした。

いつの間にか予定が立て込み（その多くが移動なのですが）、殺人的な状態でした。風邪をひいても、休むのはもちろん病院に行く暇がなく、もはや仕事で治すに等しい状態でした。

さすがにこの生活を続けるのは無理があります。年明けから新居に引っ越し、通勤時間は大幅短縮が見込まれます。パートナーと新生活を始めるようになるので、多少減収してでもワークライフバランスを手に入れたいと思います。今年の抱負は、それに尽きます。

「新年の抱負」

田口 努



1、YMCAブランディングの推進を会員の皆さんから、そして地域の方々から共感を得られるように励んでいきたい。

2、特に、YMCAに関わるワイズの皆さんが「みつかるとつながるよくなっていく」が体感できるYMCAブ

ログラづくり。

3、ブランディングパーソナリティである心を開き、わかち合う、前向きで、まわりを惹きつける、魅力をもつワイズの皆さんのように、日々新たにされて歩む生き方を目指していきたいと思います。

「新年の抱負」

野村 郁雄



今年は、笑顔を大切に、毎日楽しく過ごそうと思います。

あるデータによると就学前の子供たちは1日に平均400回笑うのに対し60歳以上になると笑う回数は1日10回以下になるそうです。そう考えると自分も笑う回数が減ったように思います。

「Laughter is the best medicine. (笑顔は最良の薬)」という英語のことわざがあるように、最近「笑い」が体に良いことが医学的にも実証されて注目を集めています。免疫力が上がる、血行を促進する、記憶力がアップする、脳の働きが活発になるなど笑顔にはさまざまな効果があるそうです。更に、笑うことによって分泌されるホルモンは、多幸感ややる気、心地よさをもたらすだけでなく、ストレスの原因となるホルモンを抑える働きもあるそうです。明るい気持ちになることが多くなれば、些細なことで悩むことが減って、考え方がポジティブになっていきます。

「笑う門には福来たる」の言葉通り、笑顔は自分だけでなく、他人をも幸福にしてくれるのだと思います。

「新年の抱負」

舟田 正夫



横浜クラブに入り10年経過した。会長としてあと半年をクラブ会員の温かい協力によって勤め上げるつもりである。横浜クラブの活動以外では、みなみ区で今年もフィリピンから来た中学生に対する日本語の学習支援を続ける。生徒は国語で習う百人一首のカルタ取りや、国語の教科書に載っている有名人の文章に対する感想文の取り纏めに苦しんでいる。生徒の積極的な態度が成果につながるよう学習支援を続けたい。

残りの時間は海外旅行に行ったり、また、19世紀のイギリスの小説を読んで当時の社会の成り立ちを学ぶなどするつもりである。

「落ち着いて行動する」

古田 和彦



このところショッキングなミスが連発している。財布の入ったカバンを置き忘れたり、孫のお年玉を空の袋で渡したりと続いた。探し物、忘れ物に時間を割くことは、もうかなり前からだが、記憶力・集中力がとみに劣化している現実を認識させられている。

そうはいつても、今与えられている役割をすべてお断りできるものでもなく、ゆっくりと確認して物事に対処するように一層気を付けなければならない。今年は、落ち着いて、一呼吸おいて、行動を起こしたい。皆さん、手際は悪いですがご容赦ください。

「スーパームーン」

松島 美一



1月2日、見事な十五夜の月、スーパームーンを見ました。大都会の光害に負けず、天空を圧していました。次の満月、31日には皆既月食が見られるはず。月、地球、太陽の相互位置により、月の満ち欠け、見かけの大きさや位置が変化する現象は望遠鏡等の特別な器具を用いず観測できます。それ故、エジプトやメキシコ等の古代文明時代の人類も現代人と同様の知識を持っていたようです。古代人の長期間の粘り強い、正確な観測と記録は種々の天文現象解明の端緒を提供してくれました。古代人は無知、未開と思われがちですが、現代人が享受している科学技術は彼らの長期間の努力、探究心のなしには得られないことを覚えるべきでしょう。



担当主事 青木 一弘

●横浜YMCA会員大会のご案内

今年度の横浜YMCA会員大会のご案内です。会員大会は、どなたでも参加でき、YMCAのことが分かるフェスティバルでもあり、平和を願い、みんなで交流し共有する機会です。

今回は、輪になって打楽器など、パーカッションを使ったアンサンブルで、参加者が心を開き一体感を感じることができる「ドラムサークル」、「平和」を伝える曲芸師、天野耕太氏による「バランスパフォーマンス」、様々な世代による「平和のメッセージ」、子どもたちのための平和や世界を身近に感じる「体験プログラム」などを予定しています。子どもから大人、会員の方はもちろん知人などどなたでも参加できるイベントです。入場無料、予約不要です。是非、ご家族・ご友人などをお誘いの上ご参加ください。

日時：2018年2月12日（月・振替休日）

10：00～14：30（開場9：30）

会場：湘南とつかYMCA 1階ホール及び2階

テーマ：ONE WORLD ONE LOVE
ONE HEART

～みつかる つながる よくなっていく～

内容：9：30 開場

10：00 オープニングセレモニー

ドラムサークル

様々な世代からの平和のメッセージ

12：00 昼食

13：00 平和につながる「バランスパフォーマンス」

14：00 クロージングセレモニー

14：30 終了

●第5回日本語スピーチコンテストのご案内

このコンテストには、横浜YMCA学院専門学校の日本語学科で勉強している学生と東京YMCAにはんご学院、YMCA東京日本語学校、YMCA健康福祉専門学校からの招待参加者が出場します。日本語を学ぶ学生達の思いを聞きにいらしてください。

日程：2018年2月23日（金）

時間：スピーチコンテスト 13時30分～15時30分

交流会 15時40分～16時30分

場所：横浜中央YMCA 9階チャペル

2018年参加学生の出身地：ネパール、台湾、タイ、ベトナム等

テーマ：「夢の山」「夢に向かって」「慣れない郷」「ありがとう」等

●第3回 子ども支援（BAPY）募金のためのチャリティーゴルフ

このゴルフコンペは、経済的な理由によりYMCAで行うさまざまなプログラムに参加することができない子どもたちの支援のための基金の増強を目的に開催されます。

日時：3月12日（月）、場所：戸塚カントリー倶楽部

年齢：不問、費用：30,000円、定員160名

※詳細は改めてお知らせいたします。

1月例会プログラム

日時：1月13日（土）18:00～20:00

場所：ワークピア横浜

出席者：横浜YMCA常議員、事業委員、職員
湘南・沖縄部ワイズメン・メネット

Happy Birthday 今村讃（9）、松島紀子（11）

舟田正夫（15）、高杉治興（20）、野村郁雄（20）

舟田昌子（24）、大江浩（26）

例会報告：松島ワイズ

2月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
8	木	18：30	横浜クラブ第一例会	中央YMCA
12	月	10：00～ 14：30	横浜YMCA会員大会	湘南とつかYMCA
22	木	17：00	横浜クラブ第二例会	中央YMCA
23	金	13：30	第5回日本語スピーチコンテスト	中央YMCA

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA青木一弘にご連絡下さい。

メール aoki_kazuhiro@yokohamaymca.org

電話 045-641-5785